

# 校歌

作詞 鴻巣 盛広

作曲 福井 直秋

一、海幸多き奈呉の浦

はるかに望む岡の上

かの万葉の歌 聖

住みし昔を偲ぶかな

二、この形 勝に地を占めて

礎 堅き学校に

知徳を磨き体を練り

為すある民と生い出でむ

、目を尽がを作  
に題昔 目山て  
事1のに題連し  
知、卿設3山願  
県と持建、立念  
三の家亜れ峰を  
兼よ伴東さ霊と  
野に大く除くこ  
矢れの輝削遠ん  
、そして後、ら  
が。し煙戦てな  
長ると黒、隔と  
校い聖くがを人  
虎て歌靡た浦の  
秀れたにっの土  
谷さめ麓あ古郷  
笹残治「と奈き  
のがをは」、良  
校文国目りは、  
学原の題な詞て  
小た中2す歌い  
常し越初示のお  
尋出て当を目に  
府をい、気題地  
古」おた意2の  
郡書にまとの勝  
水請昔。力こ景  
射申のる。るる。  
時可平あのだきあ  
当認天で業っで  
年用、の工ながの  
15採はも代ととも  
和歌詞だ現目こた  
昭校歌んす題むれ  
「の偲く2望ら